

釧路市春採公園の維管束植物相 (第一報)

加藤 ゆき恵^{※1}・甲斐 美弥子^{※2}・高嶋 八千代^{※2・※3}

Vascular plant list of Harutori Park, Kushiro-city, Eastern Hokkaido (the first report)

Yukie KATO^{※1}, Miyako KAI^{※2} and Yachiyo TAKASHIMA^{※2・※3}

はじめに

釧路市立博物館がある春採公園は釧路市東部に位置し、国の天然記念物ヒブナが生息する春採湖を含め、68.6haの面積がある都市公園である。この地域では明治20年頃から公園計画があり、現在の鶴ヶ岱公園やモシリヤチャシも含む広大な地域が計画区域になっていたが、1962年(昭和37年)に現在の区域となった(上代1974)。市街地に近く、駐車場や散策路も整備されていることから、散歩、野鳥や草花などの自然観察、ジョギングコースとして市民に愛されている。

春採湖は汽水の海跡湖で、博物館が位置する場所のはかつての海食台地上である。周囲の海岸段丘面にはハマナスやコケモモなど海岸性の植物も残っていたが(工藤2005)、現在ではほとんど見られなくなっている。この10年間で植物の消長や生育場所の変化が見られ、残念なことに盗掘による個体群減少もあった。エゾシカの個体数増加による植生変化は、湿原域に接している武佐の森公園と比べると現時点では影響が少ないようであるが、エゾシカ不嗜好種であるバイケイソウやハンゴンソウが増加傾向にあり、また、ヒロハツリバナの低木が樹皮剥ぎで枯死した事例もあった。

春採公園は身近な自然が観察できる緑地であるが、標本採集を伴う植物相調査は1980年代半ばの松本秋義氏による調査(釧路市立博物館1987)以来行われていない。花暦(フェノロジー)調査は釧路市立博物館友の会によって2003年(平成15年)から4年に渡って行われ、釧路市立博物館友の会(2007)と高嶋(2008)に結果がまとめられているが、「花暦調査」のため、花が目立たないイネ科・カヤツリグサ科・イグサ科や花が咲かないシダ植物などは一部を除いて記録されていない。人為や野生生物、気候変動などさまざまな要因による植物相の変化が予想されることから、定期的に植物相を記録しておくことは必要である。また、湿原のような「特殊」な環境は保全の対象となりやすいが、春採公園のようないわゆる「身近な普通の自然」はいつの間にか失われていることがあり、意識して記録を

残しておくことが大切である。本研究では博物館周辺の春採公園を対象として、2020年代前半の植物相を記録することを目的に、証拠標本採集を伴う維管束植物相調査を行った。

調査地概要

調査範囲は、春採公園のうち博物館に近い「春採湖畔草花ウォッチング」で歩くエリアとした(図1)。斜面方位、立地環境の違いにより出現する植物や開花時期が異なることから、調査範囲を12区分して記録したが、調査結果はすべてまとめて示した。

「博物館台地」は人工的な環境で、野草園、ロックガーデンは植栽管理されている。「南斜面」は旧科学館や博物館の造成時に攪乱を受けた場所で、2013年(平成25年)9月の台風18号による土砂崩れの跡が3か所ある。土砂崩れ跡の斜面は復旧工事の際に地表面強化のために牧草の種子が吹きつけられ、斜面下は復旧工事直後には裸地となっていたが、遷移が進み、現在は3か所それぞれで優占する植物種が異なる。「北湖畔」「科学館台地」「眺湖亭谷」「緑風荘南」「看護学院北」は高木が多く林床植生も発達しているが、ハルニレ・ミズナラ・ハリギリなどの天然林が伐採された後の更新林に人工林を加えたものである(田中1963)。

調査方法

調査は2021年(令和3年)から2023年(令和5年)にかけて行ない、花・果実がある個体を中心に植物を採集し、腊葉標本を作成した。公園内の散策路を歩き、散策路から目視で確認できる種を採集した。2021年は4月から10月まで少なくとも10日おきに調査し、2022年以降は前年までに標本を得られなかったものを中心に採集した。個体数が少ない種や開花個体が極端に少ない種は標本を採集せず、種名を記録した。公園と

※1 釧路市立博物館 Kushiro City Museum

※2 釧路市立博物館友の会 Friends Association of Kushiro City Museum

※3 道東野生植物調査会 Doto Wild Plants Study Group

して整備されている区域や野草園の植栽種についても採集または写真で記録した。標本同定には『改訂新版日本の野生植物』シリーズ(大橋ほか2015, 2016a, b, 2017a, b)、長田(1993)、星野ほか(2011)、角野(2014)、勝山(2015)、梅沢(2015)、海老原(2016, 2017)を用いた。植栽木は佐藤(2017)、『樹に咲く花』シリーズ(茂木ほか2000a, b, 2001)を参考にした。学名は山ノ内ほか(2019)に従った。

調査で得られた植物のリストを、これまでに発表されている春採湖畔の植物リスト(田中1974; 釧路市立博物館1987<松本秋義氏の調査>; 佐藤1987<シダ植物のみ>; 神田・新庄1988; 高嶋2008<花暦調査のためシダ植物、イネ科・カヤツリグサ科・イグサ科などは対象としていない>)と比較した。また、松本秋義氏の調査(釧路市立博物館1987)については、博物館所蔵標本を確認し、再同定したものと、標本はあるが目録に載っていないものを含めた植物リストを比較に用いた。その他に、滝田謙讓氏採集コレクション(釧路市立郷土博物館1983)に含まれる春採湖畔産標本と、博物館収蔵の藤田君夫氏が1937年に春採湖畔で採集した標本も参考として比較した。

結果と考察

野生由来と考えられる種群と植栽種群を分けて一覧(Appendix)にまとめた。2021~2023年に標本を採集した種に加えて、2020年(令和2年)以前に単発的に標本を採集して2021~2023年には採集できなかった種、2021~2023年に生育を確認したが個体数が少ないなど保全上の理由で採集しなかった種を含めた。外来種は五十嵐(2016)に従い、和名に*を付けて示した。

野生由来(外来種を含む)と考えられる植物は376分類群(370種2亜種3変種1品種)、植栽種(植栽であることが明らかである種類)は25分類群(23種1変種1品種)を記録した。植栽種は、種名が分かるものは掲載したが、園芸品種など種名がはっきりしないものは載せていない。

イラクサ科「ミズ?」としたものは、葉の形態(サイズ)はアオミズに相当するが種子のサイズがミズに相当するため、同定を留保した。キク科「アザミ属の一種」としたものは、門田(私信)により未記載の新分類群である可能性が高いものである。キク科「雑種タンポポ」としたものは、総苞片の形がセイヨウタンポポと在来タンポポの中間型を示すため、両者の雑種と考えられる。

・絶滅危惧植物

絶滅危惧種は植栽・移入を除いて、全国版レッドリスト種が16種、北海道版レッドリスト種が9種であった。春

採湖岸のヨシ原などの湿生環境でほとんど採集しなかったため、少ない結果になったと考えられる。

・外来植物

エゾノリュウキンカ(キンポウゲ科)は北海道の在来種であるが釧路地域では自生せず、春採公園のものは人が持ち込んだものである。ワサビ(アブラナ科)は道南には自生するという見解もあるが、道東では移入種であり、春採公園でも人が持ち込んだものが谷の沢筋で優占している。

北海道内移入を除く外来種は76分類群(74種1亜種1変種)あり、キク科21種、イネ科11種1亜種1変種、ナデシコ科・アブラナ科6種、マメ科5種であった。イネ科とマメ科は牧草由来のものが多く、キク科は植栽・食用由来のものと移入経路不明のものが多かった(五十嵐2016)。

シロツメクサ(マメ科)、ムラサキツメクサ(同)、メマツヨイグサ(アカバナ科)、ヒメスイバ(タデ科)、イヌホオズキ(ナス科)の5種は1937年(昭和12年)にすでに採集されており、古くからこの地域に外来種として定着していたことが分かった。1974年(昭和49年)の記録と本調査結果で共通の外来種は29種で、1987年(昭和62年)、1988年(昭和63年)になるとさらに増加している。

重点対策外来種に指定されているキショウブ(アヤメ科)は、明治時代に観賞植物としてヨーロッパから導入された種で(角野2014)、田中(1974)で既に記録があることから、春採湖内で見られる園芸スイレンと同様に古い時代に観賞用として導入されたものと考えられる。春採湖岸でも生育範囲を拡大しており、注意が必要である。特定外来生物に指定されているオオハングソウ(キク科)は、毎年初夏・夏・秋に市民参加で駆除活動が行なわれている。

本調査で初めて記録された外来種は27種で、この10年ほどの間に釧路周辺で確認されるようになった種が多く含まれた。野草園に生えていたウスユキマンネグサ(ベンケイソウ科)とハイコウリントンポポ(キク科)は侵入初期から注視され、公園管理者によって駆除が行われている。マツバウンラン(オオバコ科)は2014年(平成26年)にロックガーデンで開花している個体を確認した(加藤2014)。数個体だったことから標本作製と同時に駆除し、その後しばらく確認されなかったが、2021年に再び開花個体を確認した。小さい個体でもタネを生産していたことから、今後も数年単位で出現・消失を繰り返す可能性がある。シンワスレナグサ(ムラサキ科)は土砂崩れ跡地の斜面に2021年に突然出現し、花色が青色とピンク色の2種類が見られた。人為的に園芸種のタネが播種されたものと考えられたことから、公園管理者によって駆除が行われている。

・1985年頃との比較

過去の記録のうち、証拠標本がそろっている松本秋義氏による調査（釧路市立博物館1987と釧路市立博物館収蔵標本）と、同年代に行われたシダ植物調査（佐藤1987）を合わせた維管束植物相（合計339分類群）を、本調査結果と比較した。なお、松本秋義氏による調査は春採湖の周囲全体を対象としているため、博物館対岸（埋立地）や沼尻（海岸近く）など、本調査地と立地環境が異なる場所も含む。

1985年頃に採集され、本調査で確認できなかった植物種は大きく以下の5つに区分できる。

- (1) 春採湖岸に近い湿生環境やチャランケチャシなど、本調査対象地以外に生育するもの
- (2) 海岸性で、海岸草原や海食台地上に生育するもの
- (3) 盗掘など人為的影響で消失したと考えられるもの
- (4) 外来種が一時的に繁茂したと考えられるもの
- (5) シダ植物・イネ科草本など区別が難しい分類群の見落とし

(2)の海岸性植物については、釧路市立博物館（1987）ではスマレ（スマレ科）、シロスミレ（同）、カナビキソウ（ビャクダン科）、ガンコウラン（ツツジ科）、コケモモ（同）、エゾコメグサ（ハマウツボ科）、シオガマグキ（同）、ハナイカリ（リンドウ科）、チシマセンブリ（同）、ヒロハウラジロヨモギ（キク科）、オミナエシ（スイカズラ科）が「博物館台地」で採集されている。公園散策路をはずれて探索していないため、現時点でも生育している可能性は否定できないが、生育数が減少あるいは消失している可能性がある。(3)の盗掘などの人為的影響については、2010年代前半に確認できていたエゾスカシユリ（ユリ科）が見られなくなり、また、記録のあるラン科植物も数種確認できないことから、盗掘により消失したと考えられる。(4)の外来種については、1985年頃の調査では46種が記録されており、アブラナ科5種が今回の調査では確認されなかった。(5)のシダ植物については、佐藤（1987）で確認されている16種のうち6種（うち3種は湿生種）を採集しておらず、散策路沿い以外の場所の再調査が必要と考えている。

まとめ

過去に記録がなく、今回の調査で初確認された種は雑種タンポポを除いて68分類群あり、外来種はそのうち32分類群であった。在来種の中にはサワシバ（カバノキ科）、オニグルミ（クルミ科）、カツラ（カツラ科）、オオバボダイジュ（アオイ科）といった木本も含まれていたが、公園という場所柄、在来種であっても自生か植栽か区別できないものもあり、植栽木を記録していなかった可

能性もあるため、単純に比較できない。外来種は一時的な侵入で消失するものとそのまま定着するものがあると予想されるので、今後の動向を注視したい。

春採公園は散策利用者が多く、植物を熱心に観察する人がいる一方で、盗掘や播種・移植といった行為が継続して発生している。ウラボイチゲ（キンボウゲ科）とオドリコソウ（シソ科）は最近3年ほどで開花個体が極端に減少しており、状況から盗掘されたことが疑われている。2023年にはマット状に広がるマイヅルソウ（クサスギカズラ科）が半分ほど掘り採られているのを確認した。博物館隣のロックガーデンには、園芸で栽培されるセイヨウオダマキ（キンボウゲ科）、サンギナリア（別名ブラッドルート：ケシ科）がそれぞれ植えられていたことがあり、公園管理者により撤去された。ワサビ（アブラナ科）とエゾノリュウキンカ（キンボウゲ科）の定着とシンワスレナグサ（ムラサキ科）の播種については先に述べたとおりである。自然にタネが入ってくる外来種の侵入とは別に、人為的影響についても注意・記録していくことが必要である。

本研究で、前回の調査から30年以上を経た2020年代前半時点の博物館周辺の植物相を記録することができた。今回の報告で標本未採集の種類や湿生植物などについては、今後補足的に採集し、報告を作成する。

謝辞

釧路市立博物館友の会花ごよみ調査チームの皆様には、急斜面で採集を行なう際などに見守り、補助していただきました。春採湖畔草花ウォッチング参加者の皆様には、湖畔植物の開花情報を教えていただいたり、質問によって植物について考える機会をいただいたりしました。釧路市公園緑地課緑化担当に公園使用許可に際してお世話になりました。記して感謝致します。

引用文献

- 海老原淳. 2016. 日本産シダ植物標準図鑑I. 学研プラス, 東京.
- 海老原淳. 2017. 日本産シダ植物標準図鑑II. 学研プラス, 東京.
- 星野卓二・正木智美・西本真理子. 2011. 日本カヤツリグサ科植物図譜. 平凡社, 東京.
- 五十嵐博. 2016. 北海道外来植物便覧—2015年版—. 北海道大学出版会, 札幌.
- 角野康郎. 2014. 日本の水草. 文一総合出版, 東京.
- 上代雍二. 1974. IV春採湖と市民生活 4. 春採公園計画概要. 釧路叢書第15巻 春採湖（「春採湖」共同調査団編）, pp. 229-244. 釧路市, 釧路.

- 神田房行・新庄久志. 1988.植物部門. 春採湖及び周辺の環境保全基礎調査報告書(春採湖調査会編), pp. 38-73. 釧路市. 釧路.
- 加藤ゆき恵. 2014. 野草園及びロックガーデンで2014年に確認された帰化植物. 釧路市立博物館館報, 414: 7-8.
- 勝山輝男. 2015. 日本のスゲ増補改訂. 文一総合出版, 東京.
- 工藤静子. 2005 にじみ出す緑・困い込む緑—釧路の都市公園. 北海道ネーチャーマガジンモーリー, 12 : 32-34
- 釧路市立博物館. 1987. 釧路市立博物館収蔵資料目録 (VII)植物標本目録(3)(新庄久志編). 釧路市立博物館, 釧路.
- 釧路市立博物館友の会. 2007. ガイドブック「春採湖畔花ごよみ・200選 + α 」. 釧路市立博物館友の会, 釧路.
- 釧路市立郷土博物館. 1983. 釧路市立郷土博物館収蔵資料目録(III)植物標本目録(1)(新庄久志編). 釧路市立郷土博物館, 釧路.
- 茂木 透・石井英美・崎尾 均・吉山 寛ほか. 2000a. 山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花 離弁花1. 山と溪谷社, 東京.
- 茂木 透・太田和夫・勝山輝男・高橋秀男ほか. 2000b. 山溪ハンディ図鑑4 樹に咲く花 離弁花2. 山と溪谷社, 東京.
- 茂木 透・城山四郎・高橋秀男・中川重年ほか. 2001. 山溪ハンディ図鑑5 樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物. 山と溪谷社, 東京.
- 大橋広好・門田裕一・木原 浩・邑田 仁・米倉浩司(編著). 2015. 改訂新版日本の野生植物1ソテツ科〜カヤツリグサ科. 平凡社, 東京.
- 大橋広好・門田裕一・木原 浩・邑田 仁・米倉浩司(編著). 2016a. 改訂新版日本の野生植物2イネ科〜イラクサ科. 平凡社, 東京.
- 大橋広好・門田裕一・木原 浩・邑田 仁・米倉浩司(編著). 2016b. 改訂新版日本の野生植物3バラ科〜センダン科. 平凡社, 東京.
- 大橋広好・門田裕一・木原 浩・邑田 仁・米倉浩司(編著). 2017a. 改訂新版日本の野生植物4アオイ科〜キョウチクトウ科. 平凡社, 東京.
- 大橋広好・門田裕一・木原 浩・邑田 仁・米倉浩司(編著). 2017b. 改訂新版日本の野生植物5ヒルガオ科〜スイカズラ科. 平凡社, 東京.
- 長田武正. 1993. 日本イネ科植物図譜. 平凡社, 東京.
- 佐藤孝夫. 2017. 増補新装版北海道樹木図鑑. 亜細亜社, 札幌.
- 佐藤利幸. 1987. 春採湖北岸のシダ植物. 釧路市立博物館館報, 306: 3-5.
- 高嶋八千代. 2008. 春採公園の博物館周辺とその北側遊歩道沿いの植物季節. 釧路市立博物館館報, 400: 3-8.
- 田中瑞穂. 1963. 春採湖周辺の植物. 釧路市立郷土博物館館報, 134・135: 108.
- 田中瑞穂. 1974 II春採湖の生物 1.植生. 釧路叢書第15巻 春採湖(「春採湖」共同調査団編), pp. 80-98. 釧路市, 釧路.
- 梅沢 俊. 2015. 北海道のシダ入門図鑑. 北海道大学出版会, 札幌.
- 山ノ内崇志・首藤光太郎・大澤剛士・米倉浩司・加藤 将・志賀 隆. 2019. 維管束植物和名チェックリスト (https://gbif.jp/activities/checklist/wamei_checklist_110, 2023/12/15引用)

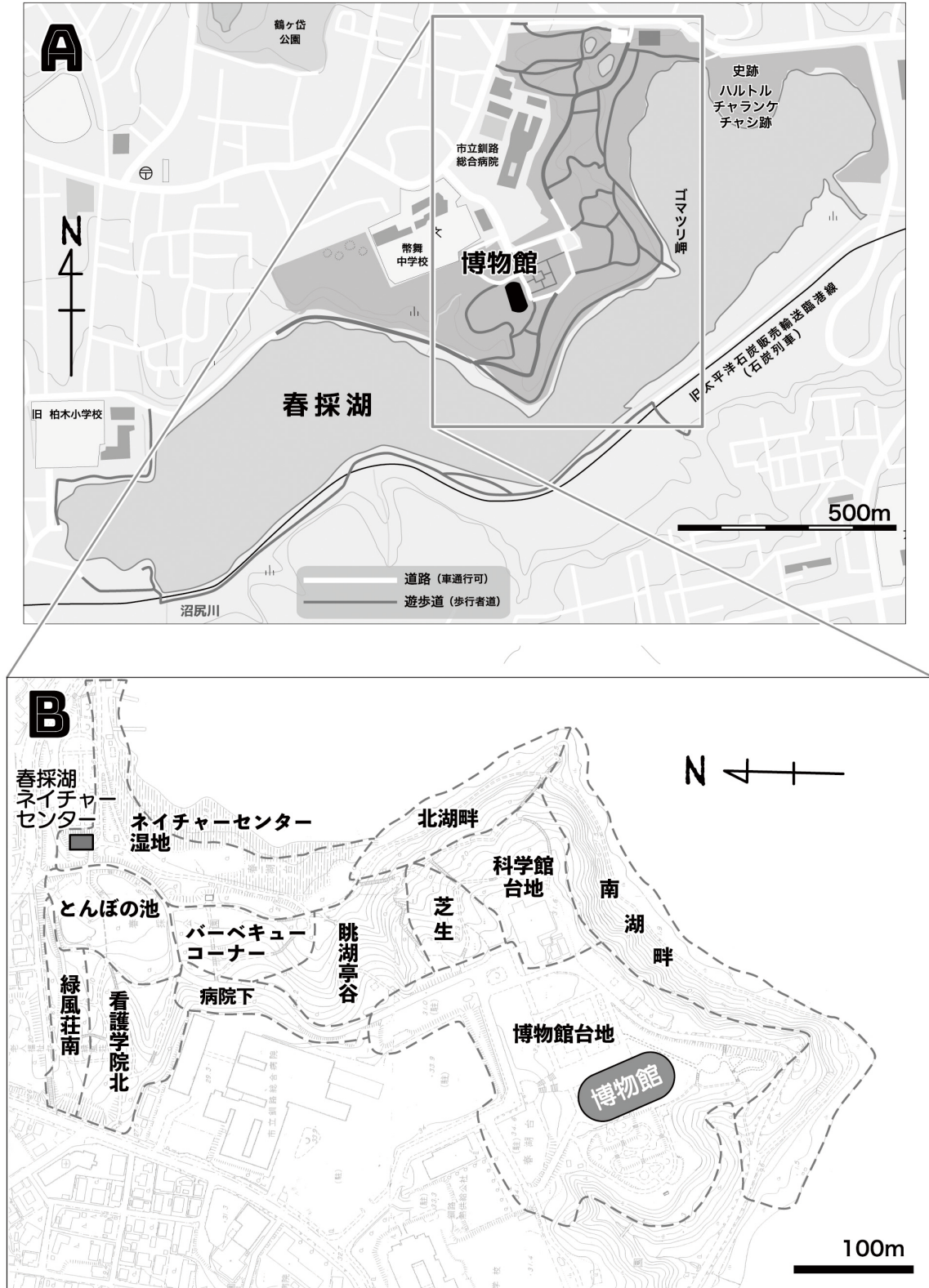


図1 調査地図 A:春採湖全体、B:調査範囲拡大。立地環境、斜面方位の違いで15区分して採集した。

Appendix. 春採公園維管束植物相 (2023年11月現在) Vascular plant list of Harutori Park (November, 2023).

和名	学名	採集日 [標本番号]	絶滅危惧種		過去の記録との比較					
			全国	北海道	1937	1974	1983	1987	1988	2008
トクサ科 Equisetaceae										
1 スギナ	<i>Equisetum arvense</i> L.	2021/4/27 [KCMH13035, LH0035]			○	○	●	○		
2 トクサ	<i>Equisetum hyemale</i> L. subsp. <i>hyemale</i>	2022/10/4 [KCMH13472, LH0472]					○	●		
3 イヌスギナ	<i>Equisetum palustre</i> L.	2021/5/26 [KCMH13094, LH0094]; 2023/6/16 [KCMH13493, LH0493]					○	●	○	
ハナヤスリ科 Ophioglossaceae										
4 エゾフユノハナワラビ	<i>Botrychium multifidum</i> (S.G.Gmel.) Rupr. var. <i>robustum</i> (Rupr. ex Milde) C.Chr.	2022/8/25 [KCMH13463, LH0463]					○	●	○	
コバノイシカグマ科 Dennstaedtiaceae										
5 ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> (L.) Kuhn subsp. <i>japonicum</i> (Nakai) A. et S.Löve	2021/7/9 [KCMH1328, LH0283]					○	●	○	
ヒメシダ科 Thelypteridaceae										
6 ニッコウシダ	<i>Thelypteris nipponica</i> (Franch. et Sav.) Ching	2021/7/9 [KCMH13264, LH0264]						●	○	
コウヤワラビ科 Onocleaceae										
7 クサソテツ	<i>Onoclea struthiopteris</i> (L.) Hoffm.	2021/7/9 [KCMH13268, LH0268]; 2021/9/2 [KCMH13408, LH0408]					○	●	○	
8 コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> L. var. <i>interrupta</i> Maxim.	2021/7/9 [KCMH13282, LH0282]					○	○	●	○
メシダ科 Athyriaceae										
9 エゾメシダ	<i>Athyrium brevifrons</i> Nakai ex Tagawa	2021/7/9 [KCMH13262, LH0262]; 2021/7/9 [KCMH13267, LH0267]; 2021/9/2 [KCMH13415, LH0415]							●	○
10 ミヤマシケシダ	<i>Deparia pycnosora</i> (H.Christ) M.Kato var. <i>pycnosora</i>	2021/7/9 [KCMH13265, LH0265]							●	○
オシダ科 Dryopteridaceae										
11 オシダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i> Nakai	2021/7/9 [KCMH13263, LH0263]							●	○
12 シラネワラビ	<i>Dryopteris expansa</i> (C.Presl) Fraser-Jenk. et Jermy	2021/7/9 [KCMH13261, LH0261]							●	○
マツブサ科 Schisandraceae										
13 チョウセンゴモシ	<i>Schisandra chinensis</i> (Turcz.) Baill.	2021/6/11 [KCMH13147, LH0147]					○	○	○	○
モクレン科 Magnoliaceae										
14 キタコブシ	<i>Magnolia kobus</i> DC. var. <i>borealis</i> Sarg.	2022/5/15 [KCMH13437, LH0437]							○	○
サトイモ科 Araceae										
15 コウライテンナンショウ	<i>Arisaema peninsulae</i> Nakai	2021/6/2 [KCMH13117, LH0117]; 2021/6/6 [KCMH13141, LH0141]; 2021/6/16 [KCMH13177, LH0177]					○	○	○	○
16 ヒメカイウ	<i>Calla palustris</i> L.	2021/6/11 [KCMH13167, LH0167]	NT							
17 コウキクサ	<i>Lemna minor</i> L.	2023/7/15 [KCMH13511, LH0511]								
18 ミズバショウ	<i>Lysichiton camtschatcense</i> (L.) Schott	2021/4/27 [KCMH13032, LH0032]								○
ヒルムシロ科 Potamogetonaceae										
19 ホソバヒルムシロ	<i>Potamogeton alpinus</i> Balb.	2023/7/15 [KCMH13512, LH0512]		VU						
シュロソウ科 Melanthiaceae										
20 クルマバツクバネソウ	<i>Paris verticillata</i> M.Bieb.	2021/5/18 [KCMH13078, LH0078]							○	○
21 オオバナノエンレイソウ	<i>Trillium camtschatcense</i> Ker Gawl. var. <i>camtschatcense</i>	2021/5/12 [KCMH13058, LH0058]					○	○	○	○
22 バイケイトウ	<i>Veratrum album</i> L. subsp. <i>oxysepalum</i> (Turcz.) Hultén	2021/6/24 [KCMH13210, LH0210]					○	○	○	○
ユリ科 Liliaceae										
23 オオウバユリ	<i>Cardocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino var. <i>glehnii</i> (F.Schmidt) H.Hara	2021/7/21 [KCMH13320, LH0320]								○
24 クロユリ	<i>Fritillaria camtschatcensis</i> (L.) Ker Gawl. var. <i>camtschatcensis</i>	2021/5/18 [KCMH13079, LH0079]		R	○	○	○	○	○	○
25 キバナノアマナ	<i>Gagea lutea</i> (L.) Ker Gawl.	2021/4/13 [KCMH13005, LH0005]					○	○	○	○
26 エゾヒメアマナ	<i>Gagea vaginata</i> Pascher	2021/4/27 [KCMH13027, LH0027]		VU	R	○	○	○	○	○
ラン科 Orchidaceae										
27 クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i> F.Maek.	2021/7/9 [KCMH13278, LH0278]								
28 コケイラン	<i>Oreorchis indica</i> (Lindl.) Hook.f.	2021/6/2 [KCMH13135, LH0135]					○	○	○	○
29 ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames var. <i>amoena</i> (M.Bieb.) H.Hara	2021/8/4 [KCMH13342, LH0342]					○	○	○	○
アヤメ科 Iridaceae										
30 キショウブ*	<i>Iris pseudacorus</i> L.	2021/6/11 [KCMH13151, LH0151]					○			○
31 ヒオウギアヤメ	<i>Iris setosa</i> Pall. ex Link var. <i>setosa</i>	2021/6/24 [KCMH13202, LH0202]						○	○	○
32 ヒトフサニワゼキショウ*	<i>Sisyrinchium mucronatum</i> Michx.	2021/6/2 [KCMH13140, LH0140]						○	○	○
スキノキ科 (ワスレグサ科) Xanthorrhoeaceae (Asphodelaceae)										
33 ゼンテイカ	<i>Hemerocallis dumortieri</i> C.Morren var. <i>dumortieri</i>	2021/6/16 [KCMH13175, LH0175]					○	○	○	○
ヒガンバナ科 Amaryllidaceae										
34 ギョウジャニンニク	<i>Allium victorialis</i> L. subsp. <i>platyphyllum</i> Hultén	2021/6/11 [KCMH13168, LH0168]					○			○
クサスギカズラ科 Asparagaceae										
35 スズラン	<i>Convallaria majalis</i> L. var. <i>manshurica</i> Kom.	2023/7/4 [KCMH13503, LH0503]					○	○	○	○
36 マイヅルソウ	<i>Maianthemum dilatatum</i> (A.W.Wood) A.Nelson et J.F.Macbr.	2021/5/18 [KCMH13077, LH0077]					○	○	○	○
37 ユキザサ	<i>Maianthemum japonicum</i> (A.Gray) LaFrankie	1個体のため採集せず								
38 ヒメイズイ	<i>Polygonatum humile</i> Fisch. ex Maxim.	2021/9/2 [KCMH13373, LH0373]; 2022/6/17 [KCMH13452, LH0452]							○	○
39 オオアマドコロ	<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>maximowiczii</i> (F.Schmidt) Koidz.	2021/6/11 [KCMH13146, LH0146]					○	○	○	○
ツユクサ科 Commelinaceae										
40 ツユクサ	<i>Commelina communis</i> L.	2021/8/4 [KCMH13329, LH0329]					○	○	○	○
ガマ科 Typhaceae										
41 ミクリ	<i>Sparganium erectum</i> L.	2021/7/21 [KCMH13304, LH0304]	NT	R	○					

釧路市春採公園の維管束植物相（第一報）

和名	学名	採集日 [標本番号]	絶滅危惧種		過去の記録との比較					
			全国	北海道	1937	1974	1983	1987	1988	2008
イグサ科 Juncaceae										
42 イグサ	<i>Juncus decipiens</i> (Buchenau) Nakai	2021/6/24 [KCMH13216, LH0216]; 2021/6/24 [KCMH13217, LH0217]; 2023/7/26 [KCMH13515, LH0515]			○			○	○	
43 タチコウガイゼキショウ	<i>Juncus krameri</i> Franch. et Sav.	2023/7/20 [KCMH13514, LH0514]					○	○	○	
44 クサイ	<i>Juncus tenuis</i> Willd.	2021/6/24 [KCMH13222, LH0222]; 2021/7/4 [KCMH13242, LH0242]; 2021/8/4 [KCMH13366, LH0366]; 2021/9/2 [KCMH13411, LH0411]					○	○	○	
45 ハリコウガイゼキショウ	<i>Juncus wallichianus</i> Laharpe	2021/8/4 [KCMH13365, LH0365]; 2021/9/2 [KCMH13410, LH0410]								
46 スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i> (Miq.) Miq. Ex Kom.	2021/5/7 [KCMH13053, LH0053]					○	○	○	○
47 ヤマズズメノヒエ	<i>Luzula multiflora</i> (Ehrh.) Lejeune	2021/6/2 [KCMH13131, LH0131]; 2021/6/24 [KCMH13223, LH0223]; 2022/7/9 [KCMH13440, LH0440]					○	○	○	
カヤツリグサ科 Cyperaceae										
48 エナシヒゴクサ	<i>Carex aphanolepis</i> Franch. et Sav.	2021/6/11 [KCMH13149, LH0149]							○	○
49 カブスグ	<i>Carex cespitosa</i> L. var. <i>cespitosa</i>	2021/6/16 [KCMH13176, 0176]					○3			
50 カサスグ	<i>Carex dispalata</i> Boott	2021/6/16 [KCMH13179, LH0179]								
51 ネムロスグ	<i>Carex gmelinii</i> Hook. et Arn.	2021/9/2 [KCMH13386, LH0386]	NT		○			○	○	
52 カワラスグ	<i>Carex incisa</i> Boott	2021/6/11 [KCMH13171, LH0171]			○			○	○	
53 ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i> Thunb.	2021/6/11 [KCMH13150, LH0150]								
54 ヒカガスグ	<i>Carex lanceolata</i> Boott var. <i>lanceolata</i>	2021/5/27 [KCMH13108, LH0108]; 2021/6/2 [KCMH13134, LH0134]; 2022/6/17 [KCMH13447, LH0447]; 2023/7/4 [KCMH13502, LH0502]					○	○	○	
55 ヒエスグ	<i>Carex longerostrata</i> C.A.Mey. var. <i>longerostrata</i>	2021/5/18 [KCMH13065, LH0065]					○	○	○	
56 ヤラメスグ	<i>Carex lyngbyei</i> Hornem.	2021/6/2 [KCMH13127, LH0217]; 2021/6/11 [KCMH13152, LH0152]					○	○	○	○
57 チャシバスグ	<i>Carex microtricha</i> Franch.	2021/5/27 [KCMH13104, LH0104]								
58 ヒカゲハリスグ	<i>Carex oneoi</i> Franch. et Sav.	2019/6/13 [KCMH09137, Kato-2019-0007]					○4	○	○	○
59 ウスイロスグ	<i>Carex pallida</i> C.A.Mey.	2021/5/27 [KCMH13107, LH0107]; 2021/6/24 [KCMH13225, LH0225]							○	○
60 イトアオスグ	<i>Carex puberula</i> Boott	2021/5/18 [KCMH13080, LH0080]; 2021/7/9 [KCMH13279, LH0279]; 2022/6/17 [KCMH13446, LH0446]								△
61 オオカサスグ	<i>Carex rhynchophysa</i> C.A.Mey.	2021/6/11 [KCMH13166, LH0166]					○			
62 カミカワスグ	<i>Carex sabyensis</i> Less. ex Kunth var. <i>sabyensis</i>	2019/6/13 [KCMH09140, Kato-2019-0010]			R				○	○
63 アカンカサスグ	<i>Carex sordida</i> Van Heurck et Müll.Arg.	2021/6/2 [KCMH13130, LH0130]; 2021/6/24 [KCMH13224, LH0224]					○5	○	○	
64 オオカワズスグ	<i>Carex stipata</i> Muhl. ex Willd.	2021/6/11 [KCMH13161, LH0161]					○	○	○	○
65 アゼスグ	<i>Carex thunbergii</i> Steud. var. <i>thunbergii</i>	2021/5/26 [KCMH13093, LH0093]; 2021/6/2 [KCMH13128, LH0128]								
66 エゾハリスグ	<i>Carex uda</i> Maxim.	2021/5/18 [KCMH13075, LH0075]; 2021/6/2 [KCMH13129, LH0129]	EN							
67 マルホハリイ	<i>Eleocharis ovata</i> (Roth) Roem. et Schult.	2021/5/26 [KCMH13092, LH0092]; 2021/6/11 [KCMH13162, LH0162]							○	
68 エゾアブラガヤ	<i>Scirpus asiaticus</i> Beetle	2019/6/13 [KCMH09144, Kato-2019-0014]					○			
69 アブラガヤ	<i>Scirpus wichurai</i> Boeckeler f. <i>concolor</i> (Maxim.) Ohwi	2021/6/16 [KCMH13178, LH0178]								
イネ科 Poaceae										
70 ヤマヌカボ ヌカボ	<i>Agrostis clavata</i> Trin. var. <i>clavata</i> <i>Agrostis clavata</i> Trin. var. <i>nukabo</i> Ohwi	2021/7/9 [KCMH13281, LH0281] 2019/8/27 [KCMH09222, Kato-2019-0094]							○	
71 コヌカグサ*	<i>Agrostis gigantea</i> Roth	2021/6/11 [KCMH13158, LH0158]; 2021/7/21 [KCMH13301, LH0301]; 2021/7/25 [KCMH13326, LH0326]; 2022/7/14 [KCMH13459, LH0459]						○		
72 オオスズメノテッポウ*	<i>Alopecurus pratensis</i> L.	2022/6/5 [KCMH13441, LH0441]								
73 コウボウ	<i>Anthoxanthum nitens</i> (Weber) Y.Schouten et Veldkamp var. <i>sachalinense</i> (Printz) Yonek.	2021/5/7 [KCMH13052, LH0052]					○	○	○	
74 ケナシナルガヤ* ナルガヤ*	<i>Anthoxanthum odoratum</i> L. subsp. <i>glabrescens</i> (Celak.) Asch. et Graebn. <i>Anthoxanthum odoratum</i> L. subsp. <i>odoratum</i>	2021/5/27 [KCMH13106, LH0106] 2021/6/24 [KCMH13193, LH0193]							○	○
75 イワノガリヤス	<i>Calamagrostis purpurea</i> (Trin.) Trin. subsp. <i>langsdoerffii</i> (Link) Tzvelev	2021/7/21 [KCMH13297, LH0297]; 2021/9/2 [KCMH13403, LH0403]					○	○	○	
76 カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i> L.	2021/6/16 [KCMH13181, LH0181]; 2021/6/24 [KCMH13194, LH0194]					○	○	○	○

加藤 ゆき恵・甲斐 美弥子・高嶋 八千代

和名	学名	採集日 [標本番号]	絶滅危惧種		過去の記録との比較						
			全国	北海道	1937	1974	1983	1987	1988	2008	
77 ヤマアワ	<i>Deyeuxia epigeios</i> (L.) Mabb.	2021/8/4 [KCMH13341, LH0341]; 2021/9/2 [KCMH13398, LH0398]; 2021/9/2 [KCMH13420, LH0420]									○
78 ヒメノガリヤス	<i>Deyeuxia hakonensis</i> (Franch. et Sav.) Keng	2022/10/26 [KCMH13480, LH0480]									
79 アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i> Link	2021/9/2 [KCMH13385, LH0385]									
80 ハマムギ	<i>Elymus dahuricus</i> Turcz. ex Griseb.	2021/7/16 [KCMH13285, LH0285]									○ ○ ○
81 アオカモジグサ	<i>Elymus racemifer</i> (Steud.) Tzvelev var. <i>racemifer</i>	2019/8/27 [KCMH09226, Kato-2019-0096]									
82 エゾムギ	<i>Elymus sibiricus</i> L.	2019/8/27 [KCMH09227, Kato-2019-0097]	CR								
83 シバムギ*	<i>Elytrigia repens</i> (L.) Desv. ex B.D.Jackson	2021/7/4 [KCMH13237, LH0237]									○ ○
ノグシバムギ*	<i>Elytrigia repens</i> (L.) Desv. ex B.D.Jackson var. <i>aristata</i> (Doell) Prokud.	2021/7/21 [KCMH13299, LH0299]									
84 ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i> Steud.	2023/8/18 [KCMH13523, LH0523]									
85 オオウシノケグサ*	<i>Festuca rubra</i> L. var. <i>rubra</i>	2021/6/24 [KCMH13228, LH0228]; 2021/7/21 [KCMH13294, LH0294]									○
86 ドジョウツナギ	<i>Glyceria ischyronura</i> Steud.	2021/6/26 [KCMH13233, LH0233]; 2021/7/9 [KCMH13260, LH0260]; 2021/7/9 [KCMH13276, LH0276]									○
87 テンキグサ	<i>Leymus mollis</i> (Trin. ex Spreng.) Pilg.	2021/9/2 [KCMH13421, LH0421]									○ ○
88 ドクムギ*	<i>Lolium temulentum</i> L.	2021/7/9 [KCMH13258, LH0258]									○ ○
89 ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson	2021/8/4 [KCMH13340, LH0340]; 2021/9/2 [KCMH13378, LH0378]									○ ○ ○
90 タツノヒゲ	<i>Neomolinia japonica</i> (Franch. et Sav.) Honda	2021/9/2 [KCMH13417, LH0417]									○ ○
91 クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i> L.	2021/6/24 [KCMH13192, LH0192]; 2021/6/24 [KCMH13209, LH0209]									○ ○ ○
92 オオアワガエリ*	<i>Phleum pratense</i> L.	2021/6/24 [KCMH13229, LH0229]									○ ○ ○
93 ヨシ	<i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud.	2021/9/2 [KCMH13396, LH0396]									○ ○ ○ ○
94 スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L.	2021/5/26 [KCMH13086, LH0086]; 2021/5/27 [KCMH13112, LH0112]									○ ○ ○
95 ヌマイチゴツナギ*	<i>Poa palustris</i> L.	2021/6/16 [KCMH13182, LH0182]; 2021/6/24 [KCMH 13215, LH0215]; 2021/7/9 [KCMH13269, LH0269]; 2021/7/9 [KCMH13270, LH0270]; 2021/7/21 [KCMH13300, LH0300]; 2021/7/25 [KCMH13325, LH0325]									○ ○ △
96 ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i> L. subsp. <i>pratensis</i>	2021/6/24 [KCMH13196, LH0196]; 2021/7/4 [KCMH13238, LH0238]; 2021/7/9 [KCMH13266, LH0266]; 2021/7/9 [KCMH13277, LH0277]									○ ○ ○ ○
97 ホソバナソモソモ	<i>Poa tatewakiana</i> Ohwi	2021/6/11 [KCMH13155, LH0155]		R							
98 オオスズメノカタビラ*	<i>Poa trivialis</i> L.	2021/6/24 [KCMH13214, LH0214]; 2021/6/24 [KCMH13218, LH0218]; 2021/6/24 [KCMH13230, LH0230]									△
99 ミヤコザサ	<i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino et Shibata	2021/6/24 [KCMH13221, LH0221]									○6 ○6
100 オニウシノケグサ*	<i>Schedonorus phoenix</i> (Scop.) Holub	2021/7/21 [KCMH13298, LH0298]; 2021/6/24 [KCMH13195, KH0195]									○ ○
101 ヒロハノウンノケグサ*	<i>Schedonorus pratensis</i> (Huds.) P.Beauv.	2021/6/24 [KCMH13219, LH0219]; 2021/7/9 [KCMH13271, LH0271]									○ ○
ケシ科 Papaveraceae											
102 クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> L. subsp. <i>asiaticum</i> H.Hara	2021/6/11 [KCMH13154, LH0154]									○ ○ ○ ○
103 エゾエンゴサク	<i>Corydalis fumariifolia</i> Maxim. subsp. <i>azurea</i> Lidén et Zetterlund	2021/4/6 [KCMH13001, LH0001]; 2023/4/6 [KCMH13483, LH0483]									○ ○ ○ ○
104 ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.	2021/5/18 [KCMH13076, LH0076]									
105 チドリケマン	<i>Corydalis kushiroensis</i> Fukuhara	2021/9/2 [KCMH13400, LH0400]	VU								○7 ○7 ○8 ○
キンポウゲ科 Ranunculaceae											
106 カラフトフシ	<i>Aconitum sachalinense</i> F.Schmidt subsp. <i>sachalinense</i> var. <i>sachalinense</i>	2021/9/2 [KCMH13414, LH0414]									○9 ○9 ○9 ○9
107 キタミフクジュソウ	<i>Adonis amurensis</i> Regel et Radde	2021/4/6 [KCMH13002, LH0002]									○10 ○10 ○10 ○
108 ウラボイチゲ	<i>Anemone amurensis</i> (Korsh.) Kom. 個体数減少のため採集せず		VU	Vu							△ ○11 ○
109 ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i> F.Schmidt var. <i>flaccida</i>	2021/5/7 [KCMH13054, LH0054]									○ ○ ○ ○ ○ ○
ミドリニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i> F.Schmidt f. <i>viridis</i> Tatew.	2021/5/7 [KCMH13055, LH0055]									△ ○
110 アズマイチゲ	<i>Anemone raddeana</i> Regel	2021/4/13 [KCMH13007, LH0007]									○ ○ ○ ○
111 エゾノリュウキンカ (移入)	<i>Caltha fistulosa</i> Schipcz.	2022/5/15 [KCMH13438, LH0438]									
112 エンコウソウ	<i>Caltha palustris</i> L. var. <i>enkoso</i> H.Hara	2021/5/12 [KCMH13056, LH0056]									○ ○ ○
113 サラシナシヨウマ	<i>Cimicifuga simplex</i> (DC.) Wormsk. ex Turcz.	2021/9/2 [KCMH13402, LH0402]									○ ○12 ○ ○ ○
114 ハイキンポウゲ	<i>Ranunculus repens</i> L.	2021/6/11 [KCMH13165, LH0165]; 2021/6/24 [KCMH13204, LH0204]									○ ○ ○ ○
115 シコタンキンポウゲ	<i>Ranunculus subcorymbosus</i> Kom. var. <i>austrorurilensis</i> (Tatew.) Tamura	2021/5/27 [KCMH13105, LH0105]	NT								○ ○ ○
116 アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Siebold et Zucc.) Miq.	2021/7/21 [KCMH13293, LH0293]									○ ○ ○ ○
117 エゾカラマツ	<i>Thalictrum sachalinense</i> Lecoy. 個体数減少のため採集せず										○13 ○13 ○ ○ ○

釧路市春採公園の維管束植物相（第一報）

和名	学名	採集日 [標本番号]	絶滅危惧種		過去の記録との比較					
			全国	北海道	1937	1974	1983	1987	1988	2008
ツグ科 Buxaceae										
118 フッキソウ	<i>Pachysandra terminalis</i> Siebold et Zucc.	2021/4/13 [KCMH13011, LH0011]				○		○	○	○
カツラ科 Cercidiphyllaceae										
119 カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i> Siebold et Zucc. ex Hoffm. et Schult.	2021/6/2 [KCMH13136, LH0136]								
スグリ科 Grossulariaceae										
120 エゾスグリ	<i>Ribes latifolium</i> Jancz.	2021/5/12 [KCMH13059, LH0059]				○	○	○	○	○
121 トガスグリ	<i>Ribes sachalinense</i> (F.Schmidt) Nakai	2021/5/18 [KCMH13068, LH0068]							○	○
ユキノシタ科 Saxifragaceae										
122 エゾネコノメソウ	<i>Chrysosplenium alternifolium</i> L. var. <i>sibiricum</i> Ser.	2022/5/6 [KCMH13435, LH0435]				○				
123 ツルネコノメソウ	<i>Chrysosplenium flagelliferum</i> F.Schmidt	2021/4/27 [KCMH13031, LH0031]				○		○	○	○
124 チシマネコノメソウ	<i>Chrysosplenium kamschaticum</i> Fisch. ex Ser. var. <i>kamschaticum</i>	2021/4/27 [KCMH13030, LH0030]				○	○	○	○	○
125 エゾククモソウ	<i>Micranthes fusca</i> (Maxim.) S.Akiyama et H.Ohba var. <i>fusca</i>	2021/9/16 [KCMH13426, LH0426]				○	○	○	○	○
ベンケイソウ科 Crassulaceae										
126 ミツバベンケイソウ	<i>Hylotelephium verticillatum</i> (L.) H.Ohba	2022/10/16 [KCMH13474, LH0474]				○	○		○	○
127 オウシュウマンネングサ* (ヨーロッパタイトゴメ)	<i>Sedum acre</i> L.	2021/7/4 [KCMH13241, LH0241]								
128 ウスユキマンネングサ* 駆除	<i>Sedum hispanicum</i> L.	野草園で確認・駆除								
ブドウ科 Vitaceae										
129 ヤマブドウ	<i>Vitis coignetiae</i> Pulliat ex Planch.	2021/6/24 [KCMH13227, LH1227]				○		○	○	○
マメ科 Fabaceae										
130 ヤブマメ	<i>Amphicarpa edgeworthii</i> Benth.	2021/9/2 [KCMH13372, LH0372]				○		○	○	○
131 エゾノレンリソウ	<i>Lathyrus palustris</i> L. var. <i>pilosus</i> (Cham.) Ledeb.	2021/7/21 [KCMH13296, LH0296]				○	○		○	○
132 ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz.	2021/9/2 [KCMH13377, LH0377]							○	○
133 コメツブウマゴヤシ*	<i>Medicago lupulina</i> L.	2021/7/4 [KCMH13240, LH0240]								
134 タマザキクサフジ*	<i>Securigera varia</i> (L.) P.Lassen	2021/7/4 [KCMH13243, LH0243]								○
135 センダイハギ	<i>Thermopsis fabacea</i> (L.) DC.	2022/6/17 [KCMH13444, LH0444]				○	○		○	○
136 テマリツメクサ*	<i>Trifolium aureum</i> Pollich	2021/8/4 [KCMH13335, LH0335]								
137 ムラサキツメクサ*	<i>Trifolium pratense</i> L.	2021/6/24 [KCMH13198, LH0198]				○	○	○	○	○
138 シロツメクサ*	<i>Trifolium repens</i> L.	2021/6/24 [KCMH13197, LH0197]				○	○		○	○
139 クサフジ	<i>Vicia cracca</i> L.	2021/7/21 [KCMH13302, LH0302]				○	○		○	○
140 ヒロハクサフジ	<i>Vicia japonica</i> A.Gray	2023/7/26 [KCMH13520, LH0520]						○	○	○
141 ナンテンハギ	<i>Vicia unijuga</i> A.Braun	2021/9/2 [KCMH13381, LH0381]				○	○		○	○
ニレ科 Ulmaceae										
142 ハルニレ	<i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehder) Nakai	2021/4/27 [KCMH13016, LH0016]				○				
クワ科 Moraceae										
143 ヤマゴウ	<i>Morus australis</i> Poir.	2021/6/2 [KCMH13138, LH0138]; 2021/6/11 [KCMH13173, LH0173]							○	○
イラクサ科 Urticaceae										
144 クサコアカソ	<i>Boehmeria gracilis</i> C.H.Wright	2021/7/16 [KCMH13287, LH0287]				○		○	○	
145 ムカゴイラクサ	<i>Laportea bulbifera</i> (Siebold et Zucc.) Wedd.	2021/8/4 [KCMH13361, LH0361]; 2022/8/25 [KCMH13461, LH0461]							○	○
146 ミズ? §1	<i>Pilea hamaoi</i> Makino	2022/9/25 [KCMH13469, LH0469]; 2022/9/25 [KCMH13470, LH0470]; 2022/10/16 [KCHH13477, LH0477]; 2022/10/16 [KCMH13478, LH0478]								
147 アオミズ	<i>Pilea pumila</i> (L.) A.Gray	2021/9/2 [KCMH11391, LH0391]; 2022/10/16 [KCMH13473, LH0473]							○	○
148 エゾイラクサ	<i>Urtica platyphylla</i> Wedd.	2021/6/24 [KCMH13213, LH0213]; 2022/8/25 [KCMH13462, LH0462]				○		○	○	
バラ科 Rosaceae										
149 キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa</i> Ledeb. var. <i>japonica</i> (Miq.) Nakai	2021/7/21 [KCMH13311, LH0311]				○	○		○	○
150 アズキナン	<i>Aria alnifolia</i> (Siebold et Zucc.) Decne.	2022/6/17 [KCMH13448, LH0448]						○	○	○
151 ヤマブキシヨウマ	<i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamschaticum</i> (Maxim.) H.Hara	2021/6/11 [KCMH13172, LH0172]				○	○		○	○
152 カスミザクラ	<i>Cerasus leveilleana</i> (Koehe) H.Ohba	2021/5/26 [KCMH13095, LH0095]							○	○
153 ミヤマザクラ	<i>Cerasus maximowiczii</i> (Rupr.) Kom.	2021/6/2 [KCMH13133, LH0133]							○	○
154 オオヤマザクラ (エゾヤマザクラ)	<i>Cerasus sargentii</i> (Rehder) H.Ohba var. <i>sargentii</i>	2021/5/12 [KCMH13057, LH0057]				○		○	○	○
155 エゾノシモツクソウ	<i>Filipendula yezoensis</i> H.Hara	開花個体が少ないため採集せず				○	○		○	○
156 エゾノクサイチゴ	<i>Fragaria nipponica</i> Makino var. <i>yezoensis</i> (H.Hara) Kitam.	2021/5/18 [KCMH13085, LH0085]				○		○	○	○
157 オオダイコンソウ	<i>Geum aleppicum</i> Jacq.	2021/7/9 [KCMH13273, LH0273]				○	○	○	○	○
158 ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i> Thunb. var. <i>japonicum</i>	2023/7/26 [KCMH13519, LH0519]							○	○
159 エゾノコリンゴ	<i>Malus baccata</i> (L.) Borkh. var. <i>mandshurica</i> (Maxim.) C.K.Schneid.	2021/6/2 [KCMH13137, LH0137]				○		○	○	○
160 エゾノウウミズザクラ	<i>Padus avium</i> Mill. var. <i>avium</i>	2021/5/18 [KCMH13073, LH0073]				○	○	○	○	○
161 シウリザクラ	<i>Padus ssiroi</i> (F.Schmidt) C.K.Schneid.	2021/6/16 [KCMH13185, LH0185]				○	○	○	○	○
162 ミツモトソウ	<i>Potentilla cryptotaeniae</i> Maxim.	2021/8/4 [KCMH13357, LH0357]							○	○
163 ミツバツチグリ	<i>Potentilla freyniana</i> Bomm.	2023/5/26 [KCMH13490, LH0490]				○		○	○	
164 ツルキジムシロ	<i>Potentilla stolonifera</i> Lehm. ex Ledeb.	2021/5/18 [KCMH13084, LH0084]				○		○	○	
165 クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i> Bunge	2021/6/16 [KCMH13183, LH0183]				○		○	○	○
166 エゾクイチゴ	<i>Rubus idaeus</i> L.	2021/6/11 [KCMH13156, LH0156]				○	○	○	○	○
167 ナガボノワレモコウ	<i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fisch. ex Link	2021/9/2 [KCMH13375, LH0375]				○	○		○	○

加藤 ゆき恵・甲斐 美弥子・高嶋 八千代

和名	学名	採集日 [標本番号]	絶滅危惧種		過去の記録との比較					
			全国	北海道	1937	1974	1983	1987	1988	2008
168 ナナカマド	<i>Sorbus commixta</i> Hedl.	2021/6/11 [KCMH13148, LH0148]			○	○	○	○		
169 ホザキシモツケ	<i>Spiraea salicifolia</i> L.	2021/7/21 [KCMH13313, LH0313]			○	△	○	○		
ブナ科 Fagaceae										
170 ミズナラ	<i>Quercus crispula</i> Blume	2021/6/2 [KCMH13126, LH0126]			○				○	
クルミ科 Juglandaceae										
171 オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. var. <i>sachalinensis</i> (Komatsu) Kitam.	2021/6/11 [KCMH13163, LH0163]								
カバノキ科 Betulaceae										
172 ケヤマハンノキ	<i>Alnus hirsuta</i> (Spach) Turcz. ex Rupr. var. <i>hirsuta</i>	2021/4/13 [KCMH13006, LH0006]			○	○	○	○		
173 ハンノキ	<i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud.	2023/4/6 [KCMH13482, LH0482]			○	○	○	○		
174 ウスゲヒロハハンノキ? §2	<i>Alnus</i> × <i>mayrii</i> Callier	2021/4/13 [KCMH13004, LH0004]				○	○	○		
175 ダケカンバ	<i>Betula emmanii</i> Cham.	2021/5/18 [KCMH13082, LH0082]			○	○	○			
176 シラカンバ	<i>Betula platyphylla</i> Sukaczew var. <i>japonica</i> (Miq.) H.Hara	2021/5/26 [KCMH13089, LH0089]			○				○	
177 サワシバ	<i>Carpinus cordata</i> Blume	2022/6/17 [KCMH13449, LH0449]								
ウリ科 Cucurbitaceae										
178 ミヤマニガウリ	<i>Schizopepon bryoniifolius</i> Maxim.	2021/7/21 [KCMH13306, LH0306]			○	○	○	○		
ニシギキ科 Celastraceae										
179 オニツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb. var. <i>strigillosus</i> (Nakai) H.Hara	2021/6/26 [KCMH13231, LH0231]			○14	○14	○14	○14		
180 ヒロハツリバナ	<i>Euonymus macropterus</i> Rupr.	2022/9/29 [KCMH13471, LH0471]							○	○
181 ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i> Miq. var. <i>oxyphyllus</i>	2021/6/11 [KCMH13170, LH0170]; 2022/10/16 [KCMH13479, LH0479]; 2023/9/26 [KCMH13531, LH0531]							△	○
182 オオツリバナ	<i>Euonymus planipes</i> (Koehne) Koehne	2021/6/2 [KCMH13123, LH0123]							○	○
183 マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume	2021/7/9 [KCMH13251, LH0251]			○	○			○	○
カタバミ科 Oxalidaceae										
184 カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L.	2023/9/26 [KCMH13533, LH0533]			○				○	
185 オッタチカタバミ*	<i>Oxalis dillenii</i> Jacq.	2021/7/21 [KCMH13292, LH0292]; 2021/8/4 [KCMH13332, LH0332]								
186 エゾダチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i> L.	2021/7/21 [KCMH13319, LH0319]; 2021/9/2 [KCMH13388, LH0388]								○
トウダイグサ科 Euphorbiaceae										
187 マツバトウダイ*	<i>Euphorbia cyparissias</i> L.	2021/5/27 [KCMH13109, LH0109]; 2021/6/2 [KCMH13114, LH0114]								
188 コニシキソウ*	<i>Euphorbia maculata</i> L.	2021/7/4 [KCMH13247, LH0247]								
ヤナギ科 Salicaceae										
189 ドロノキ	<i>Populus suaveolens</i> Fisch.	2021/5/18 [KCMH13074, LH0074]			○	○	○			
190 バッコヤナギ	<i>Salix caprea</i> L.	2021/4/27 [KCMH13015, LH0015]; 2021/4/27 [KCMH13017, LH0017]; 2021/4/27 [KCMH13019, LH0019]; 2021/4/27 [KCMH13020, LH0020]; 2021/4/27 [KCMH13021, LH0021]; 2021/4/27 [KCMH13026, LH0026]; 2021/5/7 [KCMH13037, LH0037]; 2021/5/7 [KCMH13038, LH0038]; 2021/5/7 [KCMH13039, LH0039]; 2021/5/7 [KCMH13041, LH0041]; 2021/5/7 [KCMH13048, LH0048]			○	○	○	○	○	○
191 エゾノカワヤナギ	<i>Salix miyabeana</i> Seemen subsp. <i>miyabeana</i>	2021/4/27 [KCMH13012, LH0012]; 2021/4/27 [KCMH13023, LH0023]; 2021/4/27 [KCMH13025, LH0025]; 2021/4/27 [KCMH13028, LH0028]			○		○			
192 エゾノキタヤナギ	<i>Salix schwerinii</i> E.L.Wolf	2021/5/7 [KCMH13036, LH0036]; 2021/5/7 [KCMH13042, LH0042]; 2021/5/7 [KCMH13043, LH0043]; 2021/5/7 [KCMH13044, LH0044]; 2021/5/7 [KCMH13046, LH0046]; 2021/5/7 [KCMH13047, LH0047]							○	○
193 オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i> Trautv. et C.A.Mey.	2021/4/13 [KCMH13010, LH0010]; 2021/4/27 [KCMH13011, LH0011]; 2021/4/27 [KCMH13018, LH0018]; 2021/4/27 [KCMH13024, LH0024]; 2021/4/27 [KCMH13029, LH0029]; 2021/5/7 [KCMH13045, LH0045]; 2021/7/9 [KCMH13257, LH0257]; 2024/4/1 [KCMH13481, LH0481]			○	○	○			
スミレ科 Violaceae										
194 エゾノタチツボスミレ	<i>Viola acuminata</i> Ledeb.	2021/6/11 [KCMH13164, LH0164]			○	○	○	○		
195 タチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> A.Gray var. <i>grypoceras</i>	2021/5/7 [KCMH13050, LH0050]			○	△	○	○		
196 アオイスミレ	<i>Viola hondoensis</i> W.Becker et H.Boissieu	個体数が少ないため採集せず								

釧路市春採公園の維管束植物相（第一報）

和名	学名	採集日 [標本番号]	絶滅危惧種		過去の記録との比較					
			全国	北海道	1937	1974	1983	1987	1988	2008
197 ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i> A.Gray var. <i>verecunda</i>	2021/5/18 [KCMH13071, LH0071]; 2021/5/26 [KCMH13090, LH0090]; 2023/7/7 [KCMH13508, LH0508]				○		○	○	○
オトギリソウ科 Hyperaceae										
198 オトギリソウ	<i>Hypericum erectum</i> Thunb.	2021/8/4 [KCMH13356, LH0356]				○	○		○	○
199 セイヨウトドリ	<i>Hypericum perforatum</i> L.	2023/9/15 [KCMH13525, LH0525]								
(コゴメバオトギリ)										
フウソウ科 Geraniaceae										
200 イチゲフウロ	<i>Geranium sibiricum</i> L.	2021/7/9 [KCMH13255, LH0255]; 2021/8/4 [KCMH13363, LH0363]				○	○			○
201 ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i> Siebold ex Lindl. et Paxton	2021/9/2 [KCMH13380, LH0380]								○
202 ミツバフウロ	<i>Geranium wilfordii</i> Maxim. var. <i>wilfordii</i>	2021/8/4 [KCMH13362, LH0362]				○				○
203 エゾフウロ	<i>Geranium yesoense</i> Franch. et Sav. var. <i>yesoense</i>	2021/7/6 [KCMH13249, LH0249]				○	○			○
アカバナ科 Onagraceae										
204 ミゾミズタマソウ	<i>Circaea canadensis</i> (L.) Hill subsp. <i>quadrisculata</i> (Maxim.) Boufford	2021/8/4 [KCMH13360, LH0360]	VU			○15	○		○15	○
205 イワアカバナ	<i>Epilobium amurense</i> Hausskn. subsp. <i>cephalostigma</i> (Hausskn.) C.J.Chen, Hoch et P.H.Raven	2021/7/21 [KCMH13312, LH0312]; 2021/9/2 [KCMH13413, LH0413]								○
206 エゾアカバナ	<i>Epilobium montanum</i> L.	2023/7/20 [KCMH13513, LH0513]								○
207 アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i> Franch. et Sav.	2021/8/4 [KCMH13343, LH0343]; 2021/9/2 [KCMH13392, LH0392]; 2023/9/26 [KCMH13529, LH0529]								○
208 メマツヨイグサ*	<i>Oenothera biennis</i> L.	2021/7/4 [KCMH13246, LH0246]				○	○16			○
209 ヒナマツヨイグサ*	<i>Oenothera perennis</i> L.	2021/6/24 [KCMH13200, LH0200]					○			○
ムクロジ科 Sapindaceae										
210 イタヤカエデ	<i>Acer pictum</i> Thunb.	2021/5/18 [KCMH13069, LH0069]								○
211 カラコギカエデ	<i>Acer tataricum</i> L. subsp. <i>aiduense</i> (Franch.) de Jong	2021/6/24 [KCMH13226, LH0226]								○
ミカン科 Rutaceae										
212 キハダ	<i>Phellodendron amurense</i> Rupr. var. <i>amurense</i>	2023/6/27 [KCMH13497, LH0497]								○
アオイ科 Malvaceae										
213 オオバボダイジュ	<i>Tilia maximowicziana</i> Shiras.	2021/7/9 [KCMH13280, LH0280]								
アブラナ科 Brassicaceae										
214 ヤマハタザオ	<i>Arabis kamchatica</i> (DC.) K.Shimizu et Kudoh subsp. <i>kamchatica</i>	2021/5/18 [KCMH13064, LH0064]								
215 シロイヌナズナ*	<i>Arabis thaliana</i> (L.) Heynh.	2021/4/27 [KCMH13034, LH0034]; 2021/5/27 [KCMH13111, LH0111]								
216 ヤマハタザオ	<i>Arabis nipponica</i> (Franch. et Sav.) H.Boissieu	2023/6/27 [KCMH13494, LH0494]; 2021/6/2 [KCMH13115, LH0115]; 2021/6/18 [KCMH13191, LH0191]								○
217 ハルザキヤマガラシ*	<i>Barbarea vulgaris</i> R.Br.	2021/6/9 [KCMH13142, LH0142]								○
218 セイヨウカラシナ*	<i>Brassica juncea</i> (L.) Czern.	2021/8/4 [KCMH13333, LH0333]								○
219 ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medik.	2021/5/18 [KCMH13060, LH0060]				○	○	○	○	○
220 コロンソウ	<i>Cardamine leucantha</i> (Tausch) O.E.Schulz	2021/6/2 [KCMH13122, LH0122]				○	○			○
221 オオバタネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i> Thunb.	2021/5/26 [KCMH13091, LH0091]								○
222 エゾハタザオ	<i>Catolobus pendula</i> (L.) Al-Shehbaz	2021/7/25 [KCMH13328, LH0328]								○
223 イヌナズナ*	<i>Draba nemorosa</i> L.	2022/5/6 [KCMH13436, LH0436]								○
224 オハツキガラシ*	<i>Erucastrum gallicum</i> (Willd.) O.E.Schulz	2022/9/16 [KCMH13467, LH0467]								○
225 ワサビ* (移入)	<i>Eutrema japonicum</i> (Miq.) Koidz.	2021/5/18 [KCMH13070, LH0070]								(R)
226 スカシタゴボウ	<i>Rorippa palustris</i> (L.) Besser	2021/8/4 [KCMH13334, LH0334]				○	○			○
タデ科 Polygonaceae										
227 オオイタドリ	<i>Fallopia sachalinensis</i> (F.Schmidt) Ronse Decr.	2021/8/4 [KCMH13350, LH0350]; 2021/9/2 [KCMH13397, LH0397]								○
228 エゾノミズタデ	<i>Persicaria amphibia</i> (L.) Delarbre	2021/8/26 [KCMH13369, LH0369]								Vu
229 イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i> (Brujin) Kitag.	2021/8/26 [KCMH13370, LH0370]; 2021/9/2 [KCMH13389, LH0389]				○	○			○
230 ハルタデ	<i>Persicaria maculosa</i> Gray subsp. <i>hirticaulis</i> (Danser) S.Ekman et T.Knutsson var. <i>pubescens</i> (Makino) Yonek.	2021/7/4 [KCMH13248, LH0248]								○
231 ヤノネグサ	<i>Persicaria muricata</i> (Meisn.) Nemoto	個体数が少ないため採集せず								○
232 タニソバ	<i>Persicaria nepalensis</i> (Meisn.) H.Gross	2021/9/2 [KCMH13383, LH0383]								○
233 ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i> (Buch.-Ham. ex D.Don) H.Gross var. <i>posumbu</i>	2021/8/26 [KCMH13371, LH0371]; 2021/9/2 [KCMH13382, LH0382]; 2021/9/2 [KCMH13390, LH0390]								○
234 ウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> (L.) H.Gross var. <i>sibirica</i> (Meisn.) Miyabe	2021/9/2 [KCMH13407, LH0407]; 2021/9/17 [KCMH13430, LH0430]								○
235 ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H.Gross	2021/9/2 [KCMH13405, LH0405]; 2021/9/2 [KCMH13406, LH0406]								○
236 ハイミチヤナギ*	<i>Polygonum aviculare</i> L. subsp. <i>depressum</i> (Meisn.) Arcang.	2021/8/4 [KCMH13347, LH0347]; 2021/9/16 [KCMH13424, LH0424]; 2023/9/26 [KCMH13530, LH0530]								○
237 ヒメスイバ*	<i>Rumex acetosella</i> L.	2021/6/11 [KCMH13144, LH0144]; 2021/6/18 [KCMH13189, LH0189]; 2021/6/18 [KCMH13190, LH0190]				○	○			○

和名	学名	採集日〔標本番号〕	絶滅危惧種		過去の記録との比較					
			全国	北海道	1937	1974	1983	1987	1988	2008
238 ナガバギシギシ*	<i>Rumex crispus</i> L.	2021/7/4 [KCMH13236, LH0236]; 2021/7/21 [KCMH13305, LH0305]					○	○	○	○
239 ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i> DC.	個体数が少ないため採集せず	VU							○
240 エゾノギシギシ*	<i>Rumex obtusifolius</i> L.	2021/7/9 [KCMH13256, LH0256]					○		○	○
ナデシコ科 Caryophyllaceae										
241 オオヤマフスマ	<i>Arenaria lateriflora</i> L.	2021/6/2 [KCMH13119, LH0119]					○	○	○	○
242 ムジトリナデシコ*	<i>Atocion armeria</i> (L.) Raf.	2021/7/21 [KCMH13289, LH0289]								
243 セイヨウミミナグサ*	<i>Cerastium arvense</i> L.	2021/6/11 [KCMH13145, LH0145]								
244 オオミミナグサ	<i>Cerastium fontanum</i> Baumg. subsp. <i>vulgare</i> (Hartm.) Greuter et Burdet	2021/6/24 [KCMH13208, LH0208]						○	○	○
ミミナグサ	<i>Cerastium fontanum</i> Baumg. subsp. <i>vulgare</i> (Hartm.) Greuter et Burdet var. <i>angustifolium</i> (Franch.) H.Hara	2021/5/18 [KCMH13006, LH0066]; 2021/5/18 [KCMH13067, LH0067]; 2021/5/18 [KCMH13072, LH0072]; 2021/5/26 [KCMH13088, LH0088]; 2022/6/22 [KCMH13454, LH0454]					○		○	○
245 エゾカワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>superbus</i>	2021/8/4 [KCMH13338, LH0338]					○	○	○	○
246 ツメクサ	<i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi	2021/7/9 [KCMH13284, LH0284]; 2022/8/25 [KCMH13465, LH0465]								○
247 アライトツメクサ*	<i>Sagina procumbens</i> L.	2021/5/27 [KCMH13100, LH0100]								
248 ノハラツメクサ*	<i>Spergularia arvensis</i> L. var. <i>arvensis</i>	2021/7/21 [KCMH13290, LH0290]; 2023/6/27 [KCMH13499, LH0499]								○ ○
249 ウスベニツメクサ*	<i>Spergularia rubra</i> (L.) J. et C.Presl	2021/5/27 [KCMH13101, LH0101]; 2022/9/16 [KCMH13468, LH0468]								
250 ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.	2021/6/11 [KCMH13159, LH0159]; 2022/6/17 [KCMH13445, LH0445]								○
251 オオハコベ	<i>Stellaria bungeana</i> Fenzl var. <i>stuebendorffii</i> (Regel) Y.C.Chu	2021/5/26 [KCMH13097, LH0097]; 2022/6/17 [KCMH13450, LH0450]	VU							○
252 シラオイハコベ	<i>Stellaria fenzlii</i> Regel	2022/6/17 [KCMH13451, LH1451]; 2023/7/26 [KCMH13518, LH0518]								○ ○ ○
253 カラフトホソバハコベ*	<i>Stellaria graminea</i> L.	2021/7/9 [KCMH13252, LH0252]; 2023/7/4 [KCMH13505, LH0505]; 2023/7/4 [KCMH13506, LH0506]								○ ○ ○
254 ナガバツメクサ	<i>Stellaria longifolia</i> Muhl. ex Willd.	2023/6/27 [KCMH13496, LH0496]								○17 ○17
255 ハコベ	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.	2021/4/13 [KCMH13003, LH0003]					○	○	○	○ ○
256 エゾオオヤマハコベ	<i>Stellaria radians</i> L.	2021/6/24 [KCMH13212, LH0212]; 2023/8/11 [KCMH13521, LH0521]					○	○	○	○ ○ ○
257 ノミノフスマ	<i>Stellaria uliginosa</i> Murray	2021/6/11 [KCMH13160, LH0160]; 2023/6/15 [KCMH13491, LH0491]							△	○
Amaranthaceae ヒユ科										
258 シロザ*	<i>Chenopodium album</i> L.	2023/8/18 [KCMH13522, LH0522]					○		○	
Cornaceae ミズキ科										
259 ミズキ	<i>Cornus controversa</i> Hemsl. ex Prain	2021/7/21 [KCMH13322, LH0322]; 2022/6/22 [KCMH13455, LH0455]								
アジサイ科 Hydrangeaceae										
260 ノリウツギ	<i>Hydrangea paniculata</i> Siebold	2021/7/21 [KCMH13315, LH0315]					○	○	○	○
ツリフネソウ科 Balsaminaceae										
261 キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i> L.	2021/7/21 [KCMH13318, LH0318]					○	○	○	○
サクラソウ科 Primulaceae										
262 クサレダマ	<i>Lysimachia vulgaris</i> L. var. <i>davurica</i> (Ledeb.) R.Knuth	個体数が少ないため採集せず					○		○	○
263 ツマトリソウ	<i>Lysimachia europaea</i> (L.) U.Manns et Anderb.	2021/6/2 [KCMH13139, LH0139]					○	○	○	○
264 コバンコナスビ*	<i>Lysimachia nummularia</i> L.	2022/7/14 [KCMH13457, LH0457]								
265 ヤナギトラノオ	<i>Lysimachia thyrsoiflora</i> L.	2021/6/11 [KCMH13153, LH0153]					○	○	○	○
266 エゾオオサクラソウ	<i>Primula jesoana</i> Miq. var. <i>pubescens</i> (Takeda) Takeda et H.Hara	2021/5/18 [KCMH13061, LH0061]; 2023/5/16 [KCMH13487, LH0487]		R			○	○	○	○
マタタビ科 Actinidiaceae										
267 サルナシ	<i>Actinidia arguta</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Miq. var. <i>arguta</i>	個体数が少ないため採集せず					○	○	○	
268 ミヤママタタビ	<i>Actinidia kolomikta</i> (Maxim. et Rupr.) Maxim.	2021/6/24 [KCMH13220, LH0220]					○	○	○	○
ツツジ科 Ericaceae										
269 ギンリョウソウ	<i>Monotropastrum humile</i> (D.Don) H.Hara	2023/7/4 [KCMH13507, LH0507]								
アカネ科 Rubiaceae										
270 キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i> Ohwi	2021/6/16 [KCMH13180, LH0180]; 2021/7/25 [KCMH13327, LH0327]								○
271 トゲナシムグラ*	<i>Galium mollugo</i> L.	2021/7/9 [KCMH13275, LH0275]								
272 オオバノヤエムグラ	<i>Galium pseudoasprellum</i> Makino	2021/7/21 [KCMH13314, LH0314]								○ ○ ○
273 エゾノカワラマツバ	<i>Galium verum</i> L. subsp. <i>asiaticum</i> (Nakai) T.Yamaz. var. <i>trachycarpum</i> DC.	開花個体が少ないため採集せず					○	○	○	○
274 アカネムグラ	<i>Rubia jesoensis</i> (Miq.) Miyabe et T.Miyake	2021/7/9 [KCMH13272, LH0272]					○	○	○	○
リンドウ科 Gentianaceae										
275 フデリンドウ	<i>Gentiana zollingeri</i> Fawc.	2021/5/7 [KCMH13051, LH0051]; 2023/5/10 [KCMH13486, LH0486]					○	○	○	○

釧路市春採公園の維管束植物相（第一報）

和名	学名	採集日 [標本番号]	絶滅危惧種		過去の記録との比較					
			全国	北海道	1937	1974	1983	1987	1988	2008
キョウチクトウ科 Apocynaceae										
276 イケマ	<i>Cynanchum caudatum</i> (Miq.) Maxim. var. <i>caudatum</i>	2021/7/21 [KCMH13310, LH0310]				○	○	○	○	
ヒルガオ科 Convolvulaceae										
277 ヒルガオ	<i>Calystegia pubescens</i> Lindl. f. <i>major</i> (Makino) Yonek.	2021/9/5 [KCMH13423, LH0423]				○			○	
ナス科 Solanaceae										
278 イヌホオズキ*	<i>Solanum nigrum</i> L.	2021/8/4 [KCMH13330, LH0330]; 2023/9/26 [KCMH13532, LH0532]				○	○		○	○
ムラサキ科 Boraginaceae										
279 ノハラムラサキ*	<i>Myosotis arvensis</i> (L.) Hill	2021/5/27 [KCMH13103, LH0103]; 2021/6/2 [KCMH13118, LH0118]; 2022/6/22 [KCMH13453, LH0453]; 2023/6/16 [KCMH13492, LH0492]								
280 シンワスレナグサ* 播種移入→駆除	<i>Myosotis scorpioides</i> L.	2021/5/18 [KCMH13062, LH0062]; 2021/5/26 [KCMH13087, LH0087]; 2021/5/26 [KCMH13099, LH0099]; 2021/6/2 [KCMH13120, LH0120]; 2021/7/9 [KCMH13254, LH0254]; 2021/5/18 [KCMH13063, LH0063]; 2021/5/26 [KCMH13098, LH0098]								
281 キュウリグサ*	<i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) F.B.Forbes et Hemsl.	2021/5/27 [KCMH13110, LH0110]; 2021/6/2 [KCMH13116, LH0116]								
モクセイ科 Oleaceae										
282 アオダモ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> Koidz. f. <i>serrata</i> (Nakai) Murata	2021/6/2 [KCMH13132, LH0132]; 2022/6/5 [KCMH13442, LH0442]							△	○
283 ヤチダモ	<i>Fraxinus mandshurica</i> Rupr.	2021/8/4 [KCMH13368, LH0368]					○	○	○	
284 ハシドイ	<i>Syringa reticulata</i> (Blume) H.Hara	2021/7/21 [KCMH13321, LH0321]					○	○	○	○
オオバコ科 Plantaginaceae										
285 マツバウンラン* 駆除	<i>Nuttallanthus canadensis</i> (L.) D.A.Sutton	2021/7/17 [KCMH13288, LH0288]								
286 オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> L.	2021/8/4 [KCMH13359, LH0359]				○	○	○	○	○
287 ヘラオオバコ*	<i>Plantago lanceolata</i> L.	2021/6/16 [KCMH13186, LH0186]				○	○	○	○	○
288 タチイヌノフグリ*	<i>Veronica arvensis</i> L.	2021/6/24 [KCMH13199, LH0911]; 2021/6/29 [KCMH13235, LH0235]								
289 オオイヌノフグリ*	<i>Veronica persica</i> Poir.	2021/6/29 [KCMH13234, LH0234]				○	○		○	
シソ科 Lamiaceae										
290 クルマバナ	<i>Clinopodium coreanum</i> (H.Lév.) H.Hara subsp. <i>coreanum</i>	2023/7/26 [KCMH13517, LH0517]; 2023/9/26 [KCMH13528, LH0258]; 2023/9/27 [KCMH13535, LH0535]					○	○	○	○
291 ナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia ciliata</i> (Thunb.) Hyl.	2021/9/17 [KCMH13429, LH0429]					○	○	○	○
292 チシマオドリコソウ*	<i>Galeopsis bifida</i> Boenn.	2023/8/18 [KCMH13524, LH0524]					○		○	○
293 オドリコソウ	<i>Lamium album</i> L. var. <i>barbatum</i> (Siebold et Zucc.) Franch. et Sav.	2021/5/18 [KCMH13083, LH0083]					○	○	○	○
294 シロネ	<i>Lycopus lucidus</i> Turcz. ex Benth.	2021/9/2 [KCMH13399, LH0399]; 2022/8/25 [KCMH13460, LH0460]					○	○	○	○
295 ハッカ	<i>Mentha canadensis</i> L.	2021/8/4 [KCMH13364, LH0364]					○	○	○	○
296 ウツボグサ	<i>Prunella vulgaris</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai) H.Hara	2021/6/24 [KCMH13207, LH0207]; 2023/7/4 [KCMH13504, LH0504]				○	○	○	○	○
セイヨウウツボグサ*	<i>Prunella vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i>	2021/7/9 [KCMH13274, LH0274]								
297 エゾタツナミソウ	<i>Scutellaria pekinensis</i> Maxim. var. <i>ussuriensis</i> (Regel) Hand.-Mazz.	2023/6/27 [KCMH13498, LH0498]					○		○	○
298 エゾイヌゴマ	<i>Stachys aspera</i> Michx. var. <i>baicalensis</i> (Fisch. ex Benth.) Maxim.	2022/8/25 [KCMH13464, LH0464]; 2023/7/14 [KCMH13509, LH0509]				○	○	19	○	○
サギゴケ科 Mazaceae										
299 サギゴケ	<i>Mazus miquelii</i> Makino	2021/5/27 [KCMH13102, LH0102]								
キキョウ科 Campanulaceae										
300 ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A.DC. var. <i>japonica</i> (Regel) H.Hara	2021/9/2 [KCMH13376, LH0376]				○	○		○	○
301 ハタザオギキョウ*	<i>Campanula rapunculoides</i> L.	2021/9/2 [KCMH13419, LH0419]; 2022/7/14 [KCMH13458, LH0458]								
キク科 Asteraceae										
302 キタノコギリソウ	<i>Achillea alpina</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Heimerl) Kitam.	2021/9/2 [KCMH13387, LH0387]; 2021/9/2 [KCMH13434, LH0434]							△	○
303 セイヨウノコギリソウ*	<i>Achillea millefolium</i> L.	2021/7/4 [KCMH13245, LH0245]					○	○	○	○
304 ノブキ	<i>Adenocaulon himalaicum</i> Edgew.	2021/9/2 [KCMH13404, LH0404]					○		○	○
305 ヤマハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook.f. var. <i>margaritacea</i>	2021/8/4 [KCMH13352, LH0352]				○	○	20	○	○
306 ゴボウ*	<i>Arctium lappa</i> L.	2021/8/4 [KCMH13347, LH0347]							○	○
307 オトコヨモギ	<i>Artemisia japonica</i> Thunb.	2021/9/2 [KCMH13422, LH0422]; 2023/9/15 [KCMH13527, LH0527]					○		○	○
308 オオヨモギ	<i>Artemisia montana</i> (Nakai) Pamp.	2021/9/2 [KCMH13393, LH0393]					○		○	○
309 エゾゴマナ	<i>Aster glehnii</i> F.Schmidt var. <i>glehnii</i>	個体数が少ないため採集せず							○	○
310 シラヤマギク	<i>Aster scaber</i> Thunb.	2021/9/2 [KCMH13374, LH0374]				○	○		○	○
311 アメリカセンダングサ*	<i>Bidens frondosa</i> L.	2021/9/2 [KCMH13384, LH0384]				○				
312 エゾヤマアザミ	<i>Cirsium albrechtii</i> (Maxim.) Kudô	2021/9/2 [KCMH13401, LH0401]							○	○
313 タカアザミ	<i>Cirsium pendulum</i> Fisch. ex DC.	1個体のみ確認のため採集せず							○	○

和名	学名	採集日 [標本番号]	絶滅危惧種		過去の記録との比較						
			全国	北海道	1937	1974	1983	1987	1988	2008	
314 アメリカオニアザミ*	<i>Cirsium vulgare</i> (Savi) Ten.	2021/10/6 [KCMH13433, LH0433]									
315 アザミ属の一種 §3	<i>Cirsium</i> sp.	2021/6/24 [KCMH13211, LH0211]; 2023/6/24 [KCMH13500, LH0500]; 2023/6/24 [KCMH13501, LH0501]			○21	○21		○21	○21	○21	
316 ヒメジョオン*	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.	2021/6/24 [KCMH13206, LH0206]; 2021/7/4 [KCMH13239, LH0239]					○		○	○	
317 ヒメムカシヨモギ*	<i>Erigeron canadensis</i> L.	2021/8/4 [KCMH13331, LH0331]					○		○	○	○
318 ヘラバヒメジョオン*	<i>Erigeron strigosus</i> Muhl. ex Willd.	2021/7/4 [KCMH13244, LH0244]; 2021/8/4 [KCMH13344, LH0344]							○	○	○
319 ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium makinoi</i> T.Kawahara et Yahara	2021/8/4 [KCMH13355, LH0355]					○		○	○	○
320 イヌキクイモ*	<i>Helianthus strumosus</i> L.	2022/9/6 [KCMH13466, LH0466]					○22		△	○	○
321 ヤナギタンポポ	<i>Hieracium umbellatum</i> L.	2021/7/23 [KCMH13324, LH0324]; 2021/9/2 [KCMH13379, LH0379]					○		○	○	○
322 オグルマ	<i>Inula britannica</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Kitam.	2023/9/27 [KCMH13534, LH0534]							○		○
323 カセンソウ	<i>Inula salicina</i> L. var. <i>asiatica</i> Kitam.	2021/8/4 [KCMH13339, LH0339]						○	○	○	○
324 センボンヤリ	<i>Leibnitzia anandria</i> (L.) Turcz.	2022/6/5 [KCMH13443, LH0443]						○	○	○	○
325 フラシグク*	<i>Leucanthemum vulgare</i> Lam.	2021/6/24 [KCMH13201, LH0201]						○	○	○	○
326 コシカギク*	<i>Matricaria matricarioides</i> (Less.) Ced.Porter ex Britton	2021/7/16 [KCMH13286, LH0286]; 2023/6/27 [KCMH13495, LH0495]						○	○	○	
327 ミミコウモリ	<i>Parasenecio kamschaticus</i> (Maxim.) Kadota	2021/9/2 [KCMH13412, LH0412]							○	○	○
328 ヨブスマソウ	<i>Parasenecio robustus</i> (Tolm.) Kadota	2021/7/21 [KCMH13295, LH0295]							○	○	○
329 アキタブキ	<i>Petasites japonicus</i> (Siebold et Zucc.) Maxim. subsp. <i>giganteus</i> (G.Nicholson) Kitam.	2021/4/13 [KCMH13008, LH0008]; 2021/4/13 [KCMH13009, LH0009]						○	○	○	○
330 コウゾリナ	<i>Picris hieracioides</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Krylov	2021/7/21 [KCMH13303, LH0303]; 2021/8/4 [KCMH13351, LH0351]; 2021/8/4 [KCMH13353, LH0353]					○	○	○	○	○
331 コウリンタンポポ*	<i>Pilosella aurantiaca</i> (L.) F.Schultz et Sch.Bip.	2021/6/11 [KCMH13143, LH0143]; 2021/6/24 [KCMH13203, LH0203]						○	○		○
332 キバナコウリンタンポポ*	<i>Pilosella caespitosa</i> (Dumort.) P.D.Sell et C.West	2021/6/16 [KCMH13184, LH0184]; 2021/6/24 [KCMH13205, LH0205]									
333 ハイコウリンタンポポ* 駆除	<i>Pilosella officinarum</i> F.Schultz et Sch. Bip.	2021/6/2 [KCMH13113, LH0113]; 2021/6/18 [KCMH13188, LH0188]									
334 ヤマニガナ	<i>Pterocypselus elata</i> (Hemsl.) C.Shih	2021/8/4 [KCMH13358, LH0358]								○	○
335 アラゲハンゴンソウ*	<i>Rudbeckia hirta</i> L.	2021/8/4 [KCMH13345, LH0345]						○	○	○	○
336 オオハンゴンソウ*	<i>Rudbeckia laciniata</i> L.	特定外来生物のため採集せず								○	○
337 ハンゴンソウ	<i>Senecio cannabifolius</i> Less.	2021/8/4 [KCMH13148, LH0348]						○	○	○	○
ヒトツバハンゴンソウ	<i>Senecio cannabifolius</i> Less. f. <i>integrifolius</i> (Koidz.) Kitag.	2021/9/17 [KCMH13431, LH0431]								○	○
338 ノボロギク*	<i>Senecio vulgaris</i> L.	採集忘れ								○	○
339 オオアワダチソウ*	<i>Solidago gigantea</i> Aiton subsp. <i>serotina</i> (Kuntze) McNeill	2021/9/2 [KCMH13394, LH0394]						○23		○	○
340 ミヤマアキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>leiocarpa</i> (Benth.) Hultén	個体数が少ないため採集せず						○24	○	○	○
341 オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill	2021/9/2 [KCMH13418, LH0418]; 2022/10/16 [KCMH13476, LH0476]								○	○
342 ハチジョウナ	<i>Sonchus brachyotus</i> DC.	2021/9/2 [KCMH13395, LH0395]							○	○	○
343 ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	2022/10/16 [KCMH13475, LH0475]								○	○
344 ネバリノギク*	<i>Symphytotrichum novae-angliae</i> (L.) G.L.Nesom	2021/9/25 [KCMH13432, LH0432]									
345 ヨウゼンギク*	<i>Symphytotrichum novi-belgii</i> (L.) G.L.Nesom	2021/9/16 [KCMH13425, LH0425]								○	○
346 セイヨウタンポポ*	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg.	2021/4/27 [KCMH13033, LH0033]							○	○	○
347 雑種タンポポ* §4	<i>Taraxacum</i> sp.	2023/5/7 [KCMH13485, LH0485]									
ウコギ科 Araliaceae											
348 ウド	<i>Aralia cordata</i> Thunb.	2021/8/4 [KCMH13336, LH0336]; 2023/7/26 [KCMH13516, LH0516]							○	○	○
349 タラノキ	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem.	個体数が少ないため採集せず							○	△	○
350 ハリギリ	<i>Kalopanax septemlobus</i> (Thunb.) Koidz.	2021/9/2 [KCMH13416, LH0416]							○	○	○
セリ科 Apiaceae											
351 オオバセンキュウ	<i>Angelica genuflexa</i> Nutt.	2021/9/16 [KCMH13427, LH0427]							○		○
352 エゾノヨロイグサ	<i>Angelica sachalinensis</i> Maxim. var. <i>sachalinensis</i>	2021/7/21 [KCMH13307, LH0307]							○	○	○
353 シャク	<i>Anthriscus sylvestris</i> (L.) Hoffm. subsp. <i>Sylvestris</i>	2021/6/11 [KCMH13157, LH0157]							○	○	○
354 セントウソウ	<i>Chamaele decumbens</i> (Thunb.) Makino	2021/5/18 [KCMH13081, LH0081]									○
355 ドクゼリ	<i>Cicuta virosa</i> L.	2021/8/4 [KCMH13367, LH0367]							○	○	○
356 エゾノシシウド	<i>Coelopleurum gmelinii</i> (DC.) Ledeb.	2021/7/9 [KCMH13250, LH0250]								○	○
357 ミツバ	<i>Cryptotaenia canadensis</i> (L.) DC. subsp. <i>japonica</i> (Hassk.) Hand.-Mazz.	2021/7/21 [KCMH13308, LH0308]							○	○	○
358 オオハナウド	<i>Heracleum lanatum</i> Michx. var. <i>lanatum</i>	2021/7/9 [KCMH13253, LH0253]							○	○	○
359 マルバトウキ	<i>Ligusticum scoticum</i> L.	2021/7/21 [KCMH13323, LH0323]; 2023/7/15 [KCMH13510, LH0510]							○	○	○
360 セリ	<i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC.	2021/9/2 [KCMH13409, LH0409]							○	○	○
361 ヤブニンジン	<i>Osmorhiza aristata</i> (Thunb.) Rydb. var. <i>aristata</i>	2021/6/11 [KCMH13169, LH0169]							○		○
362 オオカサモチ	<i>Pleurospermum uralense</i> Hoffm.	2021/6/26 [KCMH13232, LH0232]							○	○	○
363 ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i> Bunge	2021/7/21 [KCMH13309, LH0309]							○	○	○

釧路市春採公園の維管束植物相（第一報）

和名	学名	採集日 [標本番号]	絶滅危惧種		過去の記録との比較					
			全国	北海道	1937	1974	1983	1987	1988	2008
364 トウモロコシ	<i>Sium suave</i> Walter var. <i>suave</i>	開花個体が少ないため採集せず			○	○			○	○
365 ヤブジラミ	<i>Torilis japonica</i> (Houtt.) DC.	2021/8/4 [KCMH13346, LH0346]					○	○	○	○
ガマズミ科 Viburnaceae										
366 レンブクソウ	<i>Adoxa moschatellina</i> L.	2021/5/7 [KCMH13049, LH0049]; 2021/5/26 [KCMH13096, LH0096]; 2022/5/25 [KCMH13439, LH0439]					○	○	○	○
367 エゾニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>kamtschatica</i> (E.L.Wolf) Hultén	2021/6/2 [KCMH13125, LH0125]					○	○	○	○
368 カンボク	<i>Viburnum opulus</i> L. var. <i>sargentii</i> (Koehne) Takeda	2023/9/15 [KCMH13526, LH0526]					○	○	○	○
スイカズラ科 Caprifoliaceae										
369 エゾヒヨウタンボク	<i>Lonicera alpigena</i> L. subsp. <i>glehnii</i> (F.Schmidt) H.Hara	2021/6/2 [KCMH13124, LH0124]	VU				○	○	○	○
370 ネムロブシダマ	<i>Lonicera chrysantha</i> Turcz. ex Ledeb.	2021/6/2 [KCMH13121, LH0121]	VU					○	○	○
* 植栽種群										
マツ科 Pinaceae										
371 カラマツ (植栽)	<i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carrière	2021/4/27 [KCMH13014, LH0014]					○	○	△	○
アヤメ科 Iridaceae										
372 アヤメ (野草園植栽)	<i>Iris sanguinea</i> Hornem.	野草園植栽のため採集せず								○
メギ科 Berberidaceae										
373 メギ (植栽? 外来?)	<i>Berberis thunbergii</i> DC.	2021/7/9 [KCMH13259, LH0259]								
グミ科 Elaeagnaceae										
374 ナツグミ (植栽種)	<i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb. var. <i>multiflora</i>	2022/6/22 [KCMH13456, LH0456]								
バラ科 Rosaceae										
375 チシマザクラ (植栽)	<i>Cerasus nipponica</i> (Matsum.) Masam. et S.Suzuki var. <i>kurilensis</i> (Miyabe) H.Ohba	植栽のため採集せず								○
376 キンロバイ (植栽種)	<i>Dasiphora fruticosa</i> (L.) Rydb.	植栽のため採集せず								
ギンロバイ (植栽種)	<i>Dasiphora fruticosa</i> (L.) Rydb. var. <i>mandshurica</i> (Maxim.) Nakai	植栽のため採集せず								
377 ミカイドウ (植栽種)	<i>Malus micromalus</i> Makino	2021/6/11 [KCMH13174, LH0174]								
378 スモモ (植栽種)	<i>Prunus salicina</i> Lindl.	2023/5/26 [KCMH13488, LH0488]								
379 セイヨウナシ? (植栽種)	<i>Pyrus communis</i> L.	2023/5/26 [KCMH13489, LH0489]								
380 ノイバラ (公園植栽?)	<i>Rosa multiflora</i> Thunb.	2021/7/21 [KCMH13316, LH0316]								
ウスアカノイバラ (植栽種)	<i>Rosa multiflora</i> Thunb. f. <i>rosipetala</i> (Honda) Yonek.	2021/7/21 [KCMH13317, LH0317]								
381 ハマナス (植栽)	<i>Rosa rugosa</i> Thunb.	植栽のため採集せず					○	○	○	○
382 シモツゲ (植栽種)	<i>Spiraea japonica</i> L.f.	植栽のため採集せず					○		○	
ブナ科 Fagaceae										
383 カシワ (植栽種)	<i>Quercus dentata</i> Thunb.	植栽のため採集せず					○			
ニシキギ科 Celastraceae										
384 ニシキギ (植栽)	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold f. <i>alatus</i>	植栽のため採集せず					○		○	
ヤナギ科 Salicaceae										
385 キタカミハクヨウ (植栽種)	<i>Populus kitakamiensis</i> (P. sieboldii x P. grandidentata)	2021/5/7 [KCMH13040, LH0040]								
アブラナ科 Brassicaceae										
386 ハマハタザオ (野草園植栽)	<i>Arabis stelleri</i> DC. var. <i>japonica</i> (A.Gray) F.Schmidt	野草園植栽のため採集せず							○	○
タデ科 Polygonaceae										
387 ベニイタドリ (植栽種)	<i>Reynoutria japonica</i> Houtt. f. <i>elata</i> (Nakai) Hiyama (メイダツソウ)	2021/9/17 [KCMH13428, LH0428]								
ツツジ科 Ericaceae										
388 エゾムラサキツツジ (植栽)	<i>Rhododendron dauricum</i> L.	2023/4/27 [KCMH13484, LH0484] (植栽木の落枝を採集)	(VU)				○			
389 ヨドガワツツジ (植栽種)	<i>Rhododendron yedoense</i> Maxim. ex Regel f. <i>yedoense</i>	植栽のため採集せず								
モクセイ科 Oleaceae										
390 イボタノキ (植栽)	<i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et Zucc.	植栽のため採集せず								
キキョウ科 Campanulaceae										
391 ホタルブクロ (栽培逸出)	<i>Campanula punctata</i> Lam. var. <i>punctata</i>	2021/7/21 [KCMH13291, LH0291]							(R)	
スイカズラ科 Caprifoliaceae										
392 ケヨノミ (植栽)	<i>Lonicera caerulea</i> L. subsp. <i>edulis</i> (Regel) Hultén var. <i>edulis</i> Regel	植栽のため採集せず								
393 オミナエシ (野草園植栽)	<i>Patrinia scabiosifolia</i> Link	2021/8/4 [KCMH13337, LH0337]					○	○	○	○

§1 「ミズ?」としたものは、葉の形態（サイズ）はアオミズに相当するが種子のサイズがミズに相当するため、同定を留保した。

§2 「ウスゲヒロハハクヨウ?」としたものは、確定できないため同定を留保した。

§3 「アザミ属の一種」としたものは、門田（私信）により未記載の新種である可能性が高いものである。

§4 「雑種タンポポ」としたものは、総苞片の形がセイヨウタンポポと在来タンポポの中間型を示すため、両者の雑種と考えられる。

絶滅危惧種のランクは以下の通り。全国版 EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足/北海道版 Ex: 絶滅種、Ew: 野生絶滅種、Cr: 絶滅危機種、En: 絶滅危惧種、Vu: 絶滅危惧種、R: 希少種、N: 留意種。

過去の記録との比較に用いた資料: 1974 (田中1974)、1983 (釧路市立博物館滝田謙謙コレクション)、1987 (釧路市立博物館1987及び佐藤1987 (シダ植物フロラ)。佐藤 (1987) は●で示し、釧路市立博物館 (1987) のリストには含まれないが標本が収蔵されているものを△で示した)、1988 (神田・新庄1988)、2008 (高嶋2008/花暦調査のためシダ植物、イネ科・カヤツリグサ科・イグサ科などは対象としない)。○の後の数字は種の読み替え (分類学的見解の違い、当時は知られていなかった種類など) または再同定したもの [1: ヒメアマナ、2: ニワゼキショウ、3: ヒラギシズメ、4: ハリスズメ、5: ピロードスズメ、6: エゾミヤコザサ、7: ツルケマン、8: ツルケマン、9: エゾトリカブト、10: フクジュソウ、11: イチリンソウ、12: エゾシヨウマ、13: カラマツソウ、14: ツルウメモドキ・イヌツルウメモドキ、15: ミズタマソウ、16: アレチマツヨイグサ、17: イトハコベ、18: ミドリハコベ、19: イヌゴマ、20: ホソバヤマハハコ、21: チシマアザミ、22: キクイモ、23: セイタカアワダチソウ、24: アキノキリンソウ]